

VMware ESXi 上の Cisco Catalyst Center 2.3.7 仮想ア プライアンス

目次

はじめに	3
Catalyst Center の機能	3
Catalyst Center 仮想アプライアンス	4
仮想アプライアンスのスケール	4
VMware ESXi 上の仮想アプライアンスの要件	5
製品使用状況テレメトリ	5
詳細情報	5

はじめに

Cisco® Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center™) は、ネットワークの管理、シスコへの投資の最適化、IT 支出の削減などを実現する強力なネットワークコントローラであり、管理ダッシュボードでもあります。Catalyst® Center は、ネットワークの実行を簡素化するために、すべての基本的な管理タスクに対して単一のダッシュボードを提供します。このプラットフォームにより、IT 部門は変化や課題に迅速かつよりインテリジェントに対応できます。

Catalyst Center の機能

- **設計**：直感的なワークフローを使用し、ネットワークデバイスの展開場所からネットワークの設計を開始します。
- **ポリシー**：ビジネスニーズに基づいて高度にセキュアなアクセスとネットワークのセグメント化を促進する、ユーザーとデバイスのプロファイルを定義します。アプリケーションポリシーを使用すると、ビジネスクリティカルなアプリケーションは、ネットワークの輻輳に関係なく、一貫したパフォーマンスを提供できます。
- **プロビジョニング**：ポリシーベースの自動化を使用して、ビジネスの優先順位に基づいてネットワークにサービスを配信し、デバイスの導入を簡素化します。ゼロタッチ デバイス プロビジョニングおよびソフトウェアイメージ管理機能により、デバイスのインストールまたはアップグレード時間が数時間から数分に短縮され、市販のシスコ製デバイスのプラグアンドプレイ機能を使用して、新しいリモートオフィスを容易にオンライン化できます。さらに、Cisco Secure Network Analytics (旧 Cisco Stealthwatch®) サービスは、NetFlow および暗号化トラフィック分析 (ETA) を分析サービスに送信するため、ネットワーク要素をプロビジョニングします。
- **アシュアランス**：ネットワーク上のすべてのポイントをセンサーに変え、アプリケーション パフォーマンスやユーザー接続に関する継続的なストリーミングテレメトリをリアルタイムで送信できます。これにより、自動的なパストレースの可視性とガイド付きの修復が連動し、ネットワークの問題が表面化する前に数分で解決されます。Cisco Secure Network Analytics の自動 NetFlow スイッチ設定は、暗号化されたトラフィックに隠されている場合でも、脅威の検出と軽減を提供します。
- **プラットフォーム**：オープンで拡張可能なプラットフォームにより、サードパーティのアプリケーションとプロセスは、Catalyst Center とデータやインテリジェンスを交換できます。これにより、Catalyst Center のネットワーク インテリジェンスに基づいてワークフロープロセスを自動化することで、IT 運用が向上します。

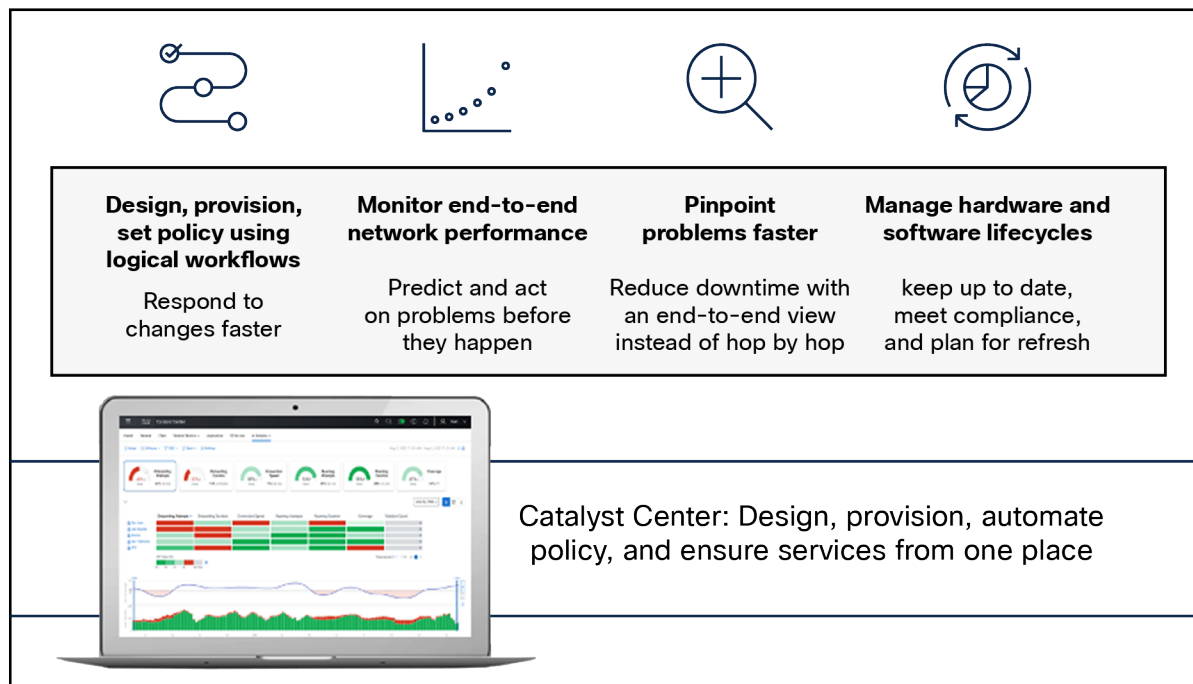


図 1.
Catalyst Center

Catalyst Center は、このすべての機能を統合コントローラに組み込み、一括管理によって提示する、集中型のネットワーク管理システムです。

Catalyst Center 仮想アプライアンス

Cisco Catalyst Center は、Amazon Web Services (AWS) を使用してクラウドに、または VMware ESXi を使用してオンプレミスに、仮想アプライアンスとして導入できます。仮想化により、お客様は運用の柔軟性を高め、価値実現までの時間を短縮できます。仮想アプライアンスは、ファブリック展開と非ファブリック展開をサポートしています。

ESXi 上の仮想アプライアンスを使用すると、お客様はハードウェアのライフサイクルを簡素化しながら、CapEx を削減できます。展開では、ESXi の高可用性機能を活用できます。

仮想アプライアンスのスケール

スケールに関する詳細情報は、[Catalyst Center のデータシート](#)の最新バージョンを参照してください。

VMware ESXi 上の仮想アプライアンスの要件

システム要件については、表 1 を参照してください。

表 1. 仮想アプライアンスの最小要件

仕様	要件
プロセッサ	64 GHz が予約された 32 の vCPU を VM 専用にする必要があります。
メモリ	256 GB が予約された 256 GB の Dynamic Random Access Memory (DRAM) を VM 専用にする必要があります。
ストレージ	3 TB
ESXi	VMware vSphere (ESXi および vCenter Server を含む) 7.0.x 以降とすべてのパッチ
I/O 帯域幅	180 MB/sec
IOPS (1 秒当たりの入出力処理)	2000 ~ 2500
Network Interface Card (NIC)	ネットワークポートあたり 1 Gbps ネットワーク

製品使用状況テレメトリ

製品使用状況テレメトリは、Cisco Catalyst Center のステータスと機能に関する貴重な情報を提供します。Catalyst Center は、製品使用状況のデータを自動的にシスコに接続して送信するように設定されています。このデータを収集することで、製品チームは顧客により優れたサービスを提供できるようになります。このデータと関連する分析情報により、シスコは潜在的な問題をプロアクティブに特定し、サービスとサポートを改善し、ディスカッションを促進して新規および既存の機能からより多くの価値を収集し、IT チームによるライセンス権限のインベントリレポートと今後の更新を支援します。

Catalyst Center のプライバシーについては、『[Cisco Catalyst Center Privacy Data Sheet](#)』を参照してください。

詳細情報

Catalyst Center によって可能になる高速化、コスト削減、リスク低減については、<https://cisco.com/go/catalystcenter> をご覧ください。

米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)